学校番号	413

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ　（教育図書）						
副教材等	硬筆レッスン帳　（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅱの授業では、書道Ⅰの授業に引き続き、様々な作品を見たり書いたりすることで、鑑賞と表現の力を高めていきます。そのような活動を通して、書のよさや価値について自分なりに考えたり、生活に生かしたりする力を身につけていきましょう。

また、書道Ⅱの授業では「篆刻」にも挑戦します。筆で文字を書くこととの違いやおもしろさを感じてみましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動をとおして、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育む とともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をとおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身につけ、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	漢字の書（行・草書）	・行書・草書の臨書 「書譜」 「集王聖教序」 ・様々な草書の古典の鑑賞 ・課題探求	a:古典の特徴をとらえ、用具用材の扱い方や基本用筆を正しく理解したうえで表現の技法を身につけている。 b:行書や草書の美や、作品のよさについて考え、味わい捉えたりしている。 c:主体的に学習に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作できている。	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書の鑑賞と創作	a:用具用材を正しく用い、表現の技法を身に付けている。 b:作品の意図や構想に基づき、表現を工夫している。 c: 学習を調整しながら、表現や鑑賞の活動に粘り強く取り組もうとしている	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
	篆書	・篆書の古典の鑑賞と臨書 「甲骨文」 「石鼓文」 「泰山刻石」	a:篆書の基本的な特徴や、正しい用筆を理解し、表現できている。 b:篆書の文字が持つ造形の味わいや線の良さについて考え、工夫して作品を作ることができている。 c: 主体的に活動に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作することができている。	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
二学期	隷書	・隷書の古典の鑑賞と臨書 「木簡」 「曹全碑」	a:隷書の基本的な用筆について理解し、筆の弾力を生かして古典の良さを表現できている。 b:隷書の美や効用について考え、工夫して作品を作ることができている。 c: 主体的に活動に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作することができている。	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ

	篆刻	・8分の名印の制作	ａ：篆書の基本的な特徴や、正しい印刀の使い方を理解し、表現できている。 ｂ：篆書の文字が持つ造形の味わいや、刻した線の良さについて考え、工夫して作品を作ることができている。 ｃ： 主体的に活動に取り組み、最後まで丁寧に仕上げることができている。	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
	楷書	・楷書の多様な表現 「牛橛造像記」	a:楷書の基本的な用筆について理解し、筆の弾力を生かして牛橛造像記ならではの力強さを表現できている b:篆刻で学習した、刻した線の良さについて理解した上で、それを表現するための用筆法について考え、工夫して作品を作ることができている。 c:主体的に活動に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作することができている。	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
三学期	仮名の書	・仮名の古典臨書 「高野切古今集」 ・仮名の鑑賞 「寸松庵色紙」 ・仮名の創作	a:古筆の特徴をとらえ、用具用材の扱い方や基本用筆を正しく理解したうえで表現の技法を身につけている。 b:仮名の美や、作品のよさについて考え、味わい捉えたりしている。 c:主体的に学習に取り組み、学びを調整しながら粘り強く制作できている。	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度